

新たなブライダルビジネスを見据えたカスタマイズ型 ウェディングドレスの考案とカジュアルウェアへの活用

Making of customizable wedding dress and its wearing variations as casual wears for a new bridal business

安川あけみ*・井畑杏莉沙*
Akemi YASUKAWA*・Arisa IHATA*

要 旨

コルセットとロングスカートから成る上下分割式のウェディングドレスを基本形とし、これに加えて種々のスカートやボレロ等を製作し、花嫁が各自の好みや体型に合わせて、多くのアイテムから選択して組み合わせられるカスタマイズ型のウェディングドレスを考案した。また、様々な色や丈のスカート、コルセットカバー、ジャケット等のアイテムを作製することで、花嫁自身が挙式後も、ウェディングドレスの一部を用いながら、これと組み合わせるパーティードレス、外出着、リゾートウェア等として継続的に着用できるコーディネートを開発した。さらに、製作した種々のアイテムを既製のTシャツ、ジーンズ、スカート等と組み合わせ、カジュアルウェアとして着用する方法も提案した。現在の結婚式ではウェディングドレスをレンタルする花嫁が多いが、本研究の提案により、多くの花嫁がウェディングドレスを購入するようになり、それに加えて、挙式後にカジュアルウェアとして利用できる種々のアイテムを合わせて購入すれば、新たなブライダルビジネスが誕生すると考える。

キーワード：ウェディングドレス、分割式、カスタマイズ、カジュアルウェア、着回し、ブライダルビジネス

1. 緒言

結婚式は人の一生における大きなライフイベントである。ブライダル雑誌の2021年調査¹⁾によると、挙式した女性の9割以上がウェディングドレスを着用しており、この傾向は長年にわたり変化がない。入手方法は購入が11.2%に対し、レンタルが86.6%で、圧倒的にレンタルが多数であった。平均価格は購入の場合が30.0万円、レンタルの場合が28.8万円で大差なく、花嫁がレンタルを選択する理由は価格ではないようである。これらの結果は、コロナ禍の影響のなかった2019年の調査結果²⁾と比較しても大きな変化はなかった。ドレスをレンタルした理由として、結婚式費用とバックであった、結婚式会場の提携店がレンタルのみであった、結婚式会場と提携するレンタル店に気に入ったデザインがあった、購入品などを持ち込む場合は持ち込み量が必要であった等、結婚式・披露宴会場との関係が挙げられている^{1, 3, 4)}。加えて、購入して

も挙式後に二度と着ることがない、美しく維持するには管理費用がかかる、かさばり保管場所が要るなど、今後の生活を見据えた意見もあった³⁻⁵⁾。一方、購入者が挙式後のドレスをどうするかについては、リサイクルショップへの売却、知人への譲渡、自宅での保管、子供用ドレスやポーチ・インテリアなど小物へのリメイク等の回答があった^{4, 6)}。以上のことから我々の調べた限り、花嫁が結婚式用にウェディングドレスを購入しても、挙式後に自身の服として活用する事例はないことがわかった。

結婚式場や貸衣装店にとって、レンタル用のドレスの使用回数とレンタル料のバランスが重要である^{7, 8)}。大手の会社では、1着のドレスのトータルレンタル回数を決める(例えば3回まで、6回前後、など)、1回貸したらドレスを休ませる期間を決める(例えば半年)など社内の取り決めがあるところもある^{7, 9)}。ファーストレンタル、すなわち、初めての着用者であることを保証するシステムを用意する会社もある¹⁰⁾。

*弘前大学教育学部家政教育講座

Department of Home Economics, Faculty of Education, Hirosaki University

一方、レンタル価格が安い店では1着のドレスのレンタル回数が増えるが、それでもどの花嫁に対しても着古した感のあるドレスは貸せず、現状、充分着られるドレスが処分されることになる。

本研究では、挙式時に花嫁が購入し、挙式後も自身のカジュアルウェアとして着用し続けられるウェディングドレスを考案する。さらに、種々の追加アイテムでウェディングドレスのデザインを自分好みにカスタマイズできるようにする。また、そのドレスの各部分とカジュアルウェア用の追加アイテムを使った様々な着方のアレンジを提案する。これにより、花嫁本人にとっては自分だけのウェディングドレスを着用できる。加えて、挙式後は思い出のドレスを死蔵させることなく継続利用できるようになる。

一方、これまでウェディングドレスを貸衣装としていた店側にとっては、販売することで商品を回転させるだけでなく、アレンジで使用する各種の追加アイテムも併せて販売でき、新たなブライダルビジネスになると考えられる。最近では、人口に占める若年層の比率が減っていることに加え、結婚しない男女が増えていること、海外での簡易な挙式やジミ婚が流行し、豪華な婚礼衣装の利用が減少していること、コロナ禍での披露宴自粛などによりブライダル業界が経済的に厳しくなっているが、本研究の提案は新たなビジネスを生み、ブライダル業界を活気づけられると考える。

これまでウェディングドレスに関する研究は、デザインの分析¹⁰⁻¹²⁾、デザインや色彩の好み^{13,14)}、ドレスの縫製方法^{15,16)} などがある。また、着用者に合わせてカスタマイズできるウェディングドレスとしては、花嫁が自身の好みで上下を組み合わせられるセパレートタイプのウェディングドレスや^{17,18)}、ユニバーサルウェディングやバリアフリーウェディング¹⁹⁾ と言われる車いすユーザーのためのドレスがある²⁰⁻²³⁾。しかし、結婚式や披露宴でウェディングドレスを着用した本人が、その衣装をその後の日常生活でカジュアルウェアとして活用する研究や実践報告はない。したがって、本研究は持続可能なライフスタイルが求められる現在に合致したものとする。

2. 材料と方法

2-1 ウェディングドレスの形態と材料

一般に、ウェディングドレスの形態はロングスカートのワンピース型が多く^{1,10-14)}、この形態では挙式後に別の着方に転用しにくい。そこで、本研究では基本と

なるウェディングドレスを上下二部式のセパレートタイプとし、トップスはコルセットとした。コルセットとは元々、背中をひもで編み上げて体型を整える下着であったが、18世紀頃から下着としてだけでなく、トップスとしてドレスと合わせて着用するようになった^{24,25)}。近年は衣料用や運動補助用のコルセットが進化している一方、ファッションアイテムとしても健在で、若者の間で流行している^{26,27)}。

本研究におけるコルセットの製作には、市販の製作セット(okadaya original corset parts set, ロングタイプ)を用いた。これはバスク、スチールボーン、スパイラルボーン、はと目かん等がセットになったものである。布はポリエステル(PET)地(PET100%, 白, サテン地)を用いた。従来はシルクサテンが主であったが²⁸⁾、布地専門店では最近ではPETサテンが多いとの情報を得、また、店頭でもドレス用としてPETサテンが販売されていることや、カジュアルウェアへの利用を考慮しPETサテンとした^{8,14,29)}。

ウェディングドレスの下衣は同じPET地を用いたロングスカートにした。花嫁が希望するウェディングドレスのシルエットはAラインが1位であることや¹⁾、カジュアルウェアへのアレンジをしやすくするために、ロングスカートのデザインはウエストにゴムを入れたギャザーフレアとした。ベールは刺しゅう入りソフトチュールレース地(PET 100%)を用いて製作した。白いサテンの手袋は市販品を購入し、ベールを留めるために、白のカチューシャに白い造花を付けたものも製作した。

種々のデザインのウェディングドレスを実現する選択アイテムとして、同様の布を用いてミニ丈、ミニ丈のギャザーフレアスカートを製作した。また、ベールに使用したのと同様のレース地を用いて、ロング丈とミニ丈のオーバースカートを製作した。スカートを膨らんだシルエットにするために、硬いチュールレース(PET 100%)を用いてパニエを製作した。さらに、柔らかいレース地(PET 100%)のボレロを製作した。

2-2 アレンジアイテムの種類と材料

ウェディングドレスをカジュアルウェアとして利用するために、種々のアレンジアイテムを用意した。コルセットの色を変えるために、薄地のピンク地(PET 100%)と黒いレース地(PET 100%)を用いて、コルセットを覆うことができるコルセットカバーを製作した。上着として白のジャガー織り地(PET 100%)

を用い、ボレロとテーラードジャケットを製作した。緑色のサテン地 (PET 100%) と、濃度が3段階に異なるピンク色のサテン地 (いずれも PET 100%) で、種々の長さのギャザーフレアスカートを作成した。その他、小物としてピンク色とオレンジ色のサテン地リボン (PET 100%, 幅 5 cm), 合成皮革製の黒ベルト地 (幅 6 cm) を購入し、保有していた麦わら帽子を用意した。

3. 結果と考察

3-1 カスタマイズできるウェディングドレス

Fig. 1 に製作した種々のデザインのウェディングドレスを示している。(a) はコルセットとロングスカートを組み合わせたフィット&フレアのウェディングドレスで、これを基本型とする。(b) はベールと手袋を合わせて着用した例である。(c) は共布のミディスカートとミニスカートを重ねばきしてティアードスカート風にしたデザインである。(d) と (e) は、各々ミニ丈とロング丈のレース地のオーバースカートを重ねばきしたデザインである。(f) は基本形にレース地のボレロを、(g) は (c) のティアードスカートバージョンにボレロを着用した着方である。(h) は下着としてパニエを付けてダートゥールランのデザインにしている。

ウェディングドレスを着る際は、花嫁がそれぞれ自分の見せたい部分を強調したり、見せたくない部分を隠したりすることで、より綺麗に装うことができる。例えば、(c) や (d) のように腰に広がりを与えることでウエストの細さを強調できる。(d) や (e) のように花柄のレース地のオーバースカートを重ねることで華やかさやかわいらしさを出すことができる。(f) や (g) のようにボレロを羽織れば、二の腕を隠せる

だけでなく、教会や神社など肌の露出が好ましくない神聖な場所での挙式にも対応できる。(h) のダートゥールスタイルにすれば腰の太さが気にならない。以上のように、シンプルな基本形スタイルに加えて、各花嫁が様々な追加アイテムを選択して組み合わせることで、自身の好みを反映させたウェディングドレスをカスタマイズできると考える。

3-2 白を基調としたカジュアルウェアへのアレンジ

Fig. 2 はウェディングドレスの一部を使った白いカジュアルウェアの例である。(a) および (b) はコルセットを生かした衣服で、Fig. 1 (c) でティアードスカートに用いたミディ丈スカートを合わせている。(a) はジャガード織りのボレロを合わせているが、スカート丈が短くなっただけで充分日常着として利用できる。(b) は上着を (a) と同じ布のテーラードジャケットに変えた装いで、固い雰囲気の場合でも着用が可能となる。(c) はウェディングドレスのロングスカートのウエストがゴムであることを生かし、ワンピースとして着用している。(d) のように幅広のリボンを締めれば落ち着いた印象になる。(e) は (d) の状態から着物のおはしりのようにスカートをたくし上げてミニ丈にした上にレース地のオーバースカートを重ねたミニドレスである。

これらの白い装いは、南国のリゾート地での挙式とその後のバカンスで、種々の着回しが可能になると考えられる。例えば、Fig. 1 のいずれかのウェディングドレスで挙式後、エアコンの効いたホテル内では Fig. 2 (a) や (b) の服装で過ごし、ビーチサイドでは水着の上に (c) のワンピースを着用して直射日光から肌を守り、レストランの食事では (d) のスタイルで落ち着きと華やかさを醸し、夜のパーティーでは若々

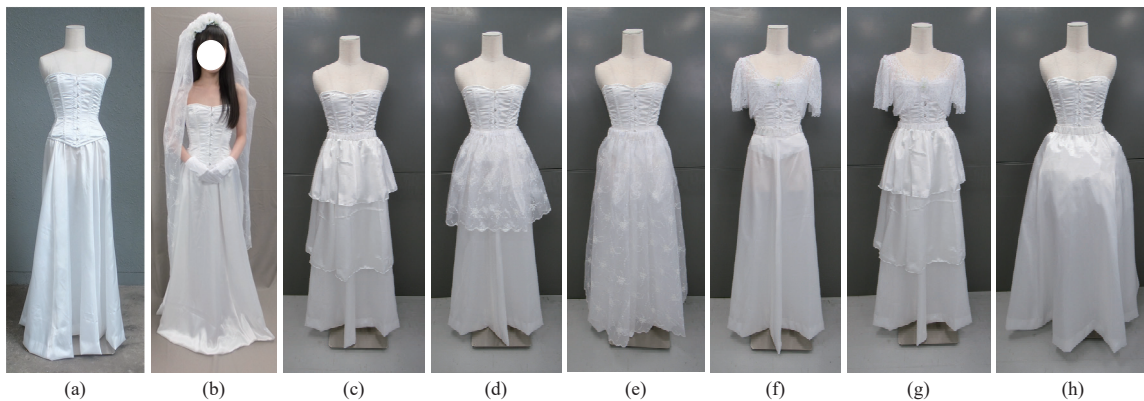


Fig. 1 Wedding dresses with various designs

しく可愛らしい (e) のドレスの装いに変化させることができる。トロピカル地などを用いることにより、ポリエステルを光沢を生かしながらも通気性や透湿性を兼ね備えた着心地の良いドレスになると考えられる。

これらの花嫁らしい白色の衣装を身につけることにより、花嫁は結婚式の余韻に浸りながら、挙式後のバカンスや新婚旅行で装いを次々と変えて楽しめる。また、仲間内のウェディングパーティー³⁰⁾ やビーチや公園などの様々な場所でのウェディングフォトの撮影でも利用できる。加えて、旅の荷物を減らせる着回し術であると言える。

3-3 カラースカートを組み合わせたカジュアルウェアへのアレンジ

次に、ウェディングドレスのコレクションに種々のカラースカート合わせた着方を Fig. 3 に示している。(a) は赤色のスカートを合わせたパーティードレスである。スカートを変えただけで印象が大きく変わるが、ピンク色の幅広のリボン合わせることで、さらに華やかになっている。(b) は赤色のスカートに、

グラデーションになるように2枚のオーバースカートを重ねたアレンジである。レース地のボレロで肌の露出を抑えている。(c) は赤色のスカートにレース地のオーバースカートを重ね履きしたアレンジである。オーバースカートはウェディングドレス (Fig. 1 (d)) でも用いた透ける素材であるため、カラースカートの色味の変化も楽しむことができる。

3-4 カラーコレクションを用いたカジュアルウェアへのアレンジ

Fig. 3 (d) はコレクションカバーでコレクションをピンク色に変えたアレンジである。スカートは色を合わせるために (b) で用いたグラデーションスカートのうち、真ん中の丈のスカートを選んだ。コレクションとスカートの色を合わせたことで、上下の統一感がでた。また、(e) はピンク色にしたコレクションに丈の異なるスカートを重ね履きした例である。(d) や (e) のように、コレクションの色を変えて白以外のスカートを組み合わせることにより、友人の結婚披露宴にも着用が可能なパーティードレスになり、活用の幅が広がると言える。Fig. 3 (f) は、Fig. 2 (b) で用いたコ



Fig. 2 Various designs arranged to casual wears (1)



Fig. 3 Various designs arranged to casual wears (2)

ルセットとジャケットを赤色スカートと組み合わせており、落ち着いた印象を与えられるコーディネートとなっている。Fig. 3 (g) および (h) は、コルセットに黒いコルセットカバーをつけたデザインである。深い緑色のミディ丈のスカートと合わせ、(b) では黒いストールを加えている。ウェディングドレスとは全く雰囲気異なる大人っぽさや夜に似合う印象を与える。この緑色のスカートを着用した場合、(i) のように白いままのコルセットにボレロを合わせても、スカートの色と丈が落ち着いた印象を与える。

3-5 市販の衣服と組み合わせたアレンジ

Fig. 4 は、ウェディングに用いた衣装の一部を市販の服と組み合わせて着用するカジュアルスタイルを示している。(a) はティアードスカートのミディ丈スカートをシャツと合わせた着方である。(b) はそれに白のテーラードジャケットを合わせた例である。いずれも落ち着いた印象のカジュアルウェアとなっている。

(c) はコルセットに黒いレース地のコルセットカバーを付け、市販のブラウス、ジーンズと合わせて黒い革ベルトを組み合わせた着方である。(d) はジーンズをスカートに替えた着方で、スカートのレースとブラウスのリボンの黒色がコルセットと統一感を持っている。いずれも流行のコルセットスタイルを取り入れた上品で可愛いファッションとなっていると言えよう。以上のように、コルセットの色を変えることにより、私服とのコーディネートが非常に広がったと言える。

Fig. 4 (e) および (f) はウェディングドレスのロングスカートをTシャツの上からワンピースとして着用した着方である。(e) はカーディガンを羽織り、リラックスした雰囲気を出している。一方、(f) は麦

わら帽子とオレンジ色のリボンが夏らしい明るい印象を与え、サマーリゾートや大自然の中での散歩が似合うのではないだろうか。

以上、ウェディングドレスをカスタマイズ型にし、その一部を追加アイテムや既に保有している私服と組み合わせることで、違和感なく様々な着方のアレンジが楽しめることを示せたと考える。結婚する花嫁を、ウェディングドレスとそのカスタマイズアイテムの購入に導き、挙式後もカジュアルウェアとして利用するための追加アイテムも併せて購入へ誘うアイデアは、新たなブライダルビジネスになる可能性を持つと考える。

4. 結論

- (1) 花嫁がウェディングドレスを挙式後に自分の服として活用している例が少ないことから、花嫁が挙式時にウェディングドレスを購入し、挙式後も活用する方法を検討した。
- (2) コルセットとロングスカートを基本型ウェディングドレスとし、それに種々の素材や長さのスカート、ボレロ、パニエ等を追加して用意することで、花嫁が自身の好みに合うデザインにカスタマイズできるウェディングドレスを考案した。
- (3) 挙式で着用したウェディングドレスの一部を、種々の色や丈のスカート、コルセットカバー、ジャケット等の追加アイテムを組み合わせることで、花嫁が挙式後も継続的にカジュアルウェアとして着用できる方法を提案した。
- (4) ウェディングドレスの一部やその追加アイテムを、市販の服と組み合わせることにより、カジュアルウェアとして利用する方法を提案した。



Fig. 4 Various designs arranged to casual wears (3)

(5) 以上は、ウェディングドレスとそのカスタマイズアイテムならびに追加アイテムの販売という新たなブライダルビジネスになると言える。

本研究は、経済的に厳しいブライダル業界の現状を鑑み、花嫁が挙式時に購入しても挙式後に利用しないか、レンタルして手元に残らないウェディングドレスの現状に対して、挙式後も継続的にカジュアルウェアとして活用できるウェディングドレスを提案するという新しい一石を投げられたと考える。

参考文献

- (株) リクルート；ゼクシィ結婚トレンド調査 2021；
https://souken.zexy.net/data/trend2021/XY_MT21_report_06shutoken.pdf (2022/6/30 閲覧)
- (株) リクルート；ゼクシィ結婚トレンド調査 2019,
https://souken.zexy.net/data/trend2019/XY_MT19_report_06shutoken.pdf (2022/6/30 閲覧)
- Ozmall；意志のある、私らしい行動，ウェディングドレスはレンタルした？それとも購入した？花嫁のホンネ【15】，<https://www.ozmall.co.jp/wedding/honne/vol15/> (2022/6/30 閲覧)
- みんなのウェディング；ウェディングドレスは購入とレンタルどちらがいい？費用の違いやメリットをチェック，<https://www.mwed.jp/articles/6794/> (2022/6/30 閲覧)
- CARAETO；ウェディングドレスを取っておきたい時に利用したい保管サービス，<https://www.trunk.services/column/posts/131/> (2022/6/30 閲覧)
- 結婚 STYLE 購入したドレス，挙式後にどうする？
<https://www.niwaka.com/ksm/radio/wedding/dress/buying-rental/11/#anc04>
- marry；ドレスを作ってみて，わかったこと！
<https://marry-xoxo.com/articles/14492>
- GRANMANIE/TOPICS & BLOG/ 再損のドレストレンド&ウェディング情報を発信 / 【ウェディングドレスの疑問】ドレスって何回くらい貸すの？
<https://granmanie.co.jp/blog/2017/01/09/9331/>
- ドレスクリーニングショップ；
<http://www.dresscleaningshop.jp/cgi-bin/news/page.cgi?act=page&id=718> (2022/6/30 閲覧)
- 宮武恵子，加藤裕子；ウェディングドレスのデザインに関する研究（1）ーデザイン分析における基礎的な概念ー，共立女子大学家政学部紀要，66:37-51 (2020)
- 田原美津子；ウェディングドレスについて，杉野服飾大学杉野服飾大学短期大学部紀要，6:13-26 (2007)
- 宮武恵子，加藤裕子；ウェディングドレスのデザインに関する研究（2）ー2019年と2020年のトレンドデザイン分析を中心にー，共立女子大学家政学部紀要，67:1-13 (2021)
- 高橋美千子；白いウェディングドレスにおける社会的普遍性と個別性，大手前女子短期大学・大手前栄養文化学院研究収録，18:113-126 (1998)
- 小川秀子；ウェディング・ドレスの嗜好性について，新潟青陵大学短期大学部研究報告，41: 33-51 (2011)
- 鹿島和枝；ウェディング・ドレスの裾上げの方法と評価，文化学園大学紀要，服装学・造形学研究，44:13-25 (2013)
- 鹿島和枝；ウェディング・ドレスの裾上げの方法と評価（2）裏布のつけ方の違いによる評価，文化学園大学紀要，服装学・造形学研究，46:1-12 (2015)
- Hanayume；新郎・新婦衣装，<https://hana-yume.net/howto/category/costume/> (2022/6/30 閲覧)
- COCOMELODY；ウェディングドレス / セパレート，
<https://www.cocomelody.jp/wedding-dresses/separatedress> (2022/6/30 閲覧)
- Sana Topic；車いすの新婦にやさしい「ユニバーサルウェディング」とは？；
<http://topic.web-sana.com/857.html> (2022/6/30 閲覧)
- 西澤華穂；車いす利用者がウェディングドレスを着た際のデザインや移動のしやすさに関する調査，長野大学社会福祉学部平成25年度調査研究報告書 (2013)
- website.informer.com；BRIDAL STYLIST SOGA
<https://website.informer.com/soga.co.jp> (2022/6/30 閲覧)
- Campanell；Wheelchair dress，
<https://campanella.info/chairdress/> (2022/6/30 閲覧)
- W2-Dress；障害がある方の結婚式；
<https://photorental.cutewdress.com/> (2022/6/30 閲覧)
- ウィキペディア「コルセット」，
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%AB%E3%82%BB%E3%83%83%E3%83%88> (2022/6/30 閲覧)
- カーリー・ロニー；“ウェディングドレス・ブック”，フレックス・ファーム，東京，p.47 (2006)
- bambi；かわいいコルセット style，文化出版局，東京，p.4-5 (2012)
- NYLON；BLOG/ 平真悠子 /2017年流行のコルセットをDIYしよう，
<https://www.nylon.jp/blog/mayuko/?p=12231> (2022/6/30 閲覧)
- 月居良子；“手作りドレスでウェディング”，文化出版局，東京，p.50-96 (2016)
- 野中慶子，岡本あづさ，松尾一弘；“カスタマイズできるウェディング&カラードレス”，文化出版局，東京，p.46-84 (2017)
- セサミウェディング編集部；“幸運な未来を招くウェディング小物&言い伝え”，芸文社，東京，p.34 (2013)

(2022. 12. 20 受理)